

# 道徳科学習指導案

指導者 T 1  
T 2

- 1 日 時 令和6年5月15日（水）6校時
- 2 学 年 第5学年（14名）
- 3 主題名 「相手のための親切」 [B 親切、思いやり]
- 4 ねらい

本当に友達のためになることであれば時には言いにくいことも言うユウコの思いを考えることを通して、相手の成長など相手の立場に立って行動することが優しさには大切であることに気づき、相手の立場に立って、進んで親切にしようとする心情を育てる。

- 5 教材名 「やさしいユウちゃん」  
（「小学道徳 生きる力5」日本文教出版）

## 6 主題設定の理由

### ○主題観

本主題は、第5学年及び第6学年の内容項目 [B 親切、思いやり] 「誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にすること。」に基づくものである。これは、第1学年及び第2学年の「身近にいる人に温かい心で接し、親切にすること。」、第3学年及び第4学年の「相手のことを思いやり、進んで親切にすること。」からつながるものである。

思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にすることは、よりよい人間関係を築くために大切なことである。しかし、人によって価値観が異なるため、親切と思った行動がおせっかいや自己満足になってしまう可能性がある。また、人間関係の深さの違いや意見の相違などもある。そういった難しさを越え、児童がお互いを思いやることによって安心して生活できる社会をつくらうとしていくことを考え、本主題を設定した。

### ○児童観

### ○指導観

本教材は、ハルカに対するユウコの行動の変化から、本当に相手のためになる親切について考えることができる教材である。親切心から友達であるハルカをずっと助けてきたユウコは、五年生になって委員会を決める際、ハルカから同じ委員会に入りたいと言われる。しかし、大好きな動物に関する飼育委員会を希望したハルカの意思を尊重し、ハルカの今後のことを考えて別々の委員会に入ることを決断する。ハルカの立場に立って考え、相手のために言いにくいことも言うユウコの姿から、本当に相手のためになることを考えて行動することの大切さについて考えることができる教材である。

道徳科の授業においては、登場人物の考えに寄り添ったり自分の生活を振り返ったりして、自分の考えを正直に発表することができる児童が多い。また、友達の考えから自分の考えを深めようとする姿も見られる。学級全体に自分の考えを伝えることに苦手意識をも

つ児童がいるが、ペアやグループでの話し合いでは自分の意見を伝えることができるようになってきている。

指導に当たっては、児童が主体的に考え、友達と意見交流をすることで、道徳的価値についての考えを深められるようにしたい。そのために次の4点に留意する。

- ①導入では、事前アンケートで聞いた「優しい人とはどんな人か」の回答を発表する。それぞれの回答を優しいと思うか問い返すことで、本当の優しさについて考えるという課題意識をもたせるようにする。
- ②展開前段では、今までユウコがハルカを助けてきたときの気持ちを考えさせることで、親切の気持ちよさや満足感をとらえさせる。ユウコの行動でハルカが安心していただけをとらえさせ、中心発問へとつなげていく。
- ③中心発問では、ハルカとは別の委員会に行くことを選んだユウコの行動が優しいと言えるかどうか議論する。ハルカの今後のことを考えて、あえて一緒にいないようにしたユウコ的心情をとらえさせ、相手が望んでいなくても本当に相手のためになることをする行動の尊さに気づかせたい。
- ④展開後段では「本当の優しさ」について考えさせることで、優しさについての考えの深まりを実感させる。相手の立場を考える難しさに共感させながらも、学級での相手の立場を考えた行動を紹介することで、自他の行動のプラス面を振り返られるようにしたい。

## 7 準備物 ・挿絵 ・道徳ノート

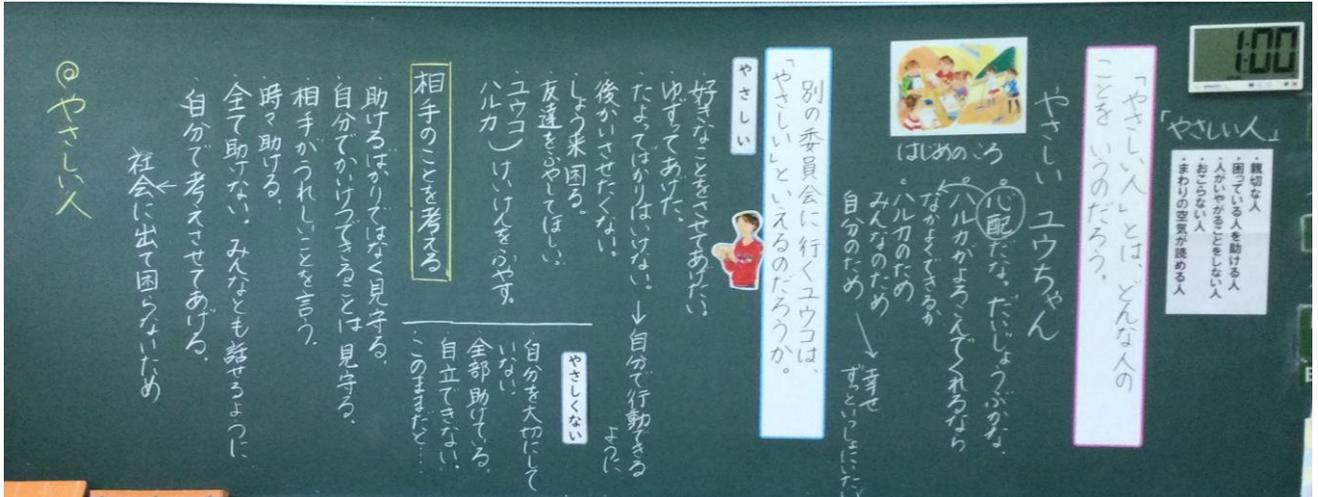
## 8 学習指導過程

	学習活動	○主な発問 ・児童の心の動き	指導形態		○留意点●評価
			T 1	T 2	
導入 (5分)	1 事前アンケートの結果を示して、課題を設定する。	○「優しい人」についてのみなさんの回答です。それぞれ、本当に優しいと思いますか。 ・親切な人 ・困っている人を助ける人 ・人が嫌がることをしない人 ・怒らない人 ・周りの空気が読める人	発問	板書	○優しさに対するとらえ方が様々であることから課題につなげる。
		「優しい人」とは、どんな人だろう。			

展開 (35分)	2 教材「やさしいユウちゃん」を読んで考え、話し合う。	<p>○今までユウコはどんな気持ちでハルカを助けてきたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハルカが困らないようにして、楽しく過ごしてほしい。</li> <li>・友達だから放っておけない。</li> <li>・人を助けると、感謝されるし、自分も気持ちがいい。</li> </ul> <p>【中心発問】</p> <p>○別の委員会に行くユウコは「優しい」と言えるのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハルカは不安そうな顔をしているし、一緒にいたいと言うハルカに対してきっぱりと断っているのが優しいと言えない。</li> <li>・ハルカのためを思って断っているのが優しいと言える。</li> <li>・いつも一緒にいるのが優しさではなく、相手のことを考えて時には離れるのも優しさだと思う。</li> </ul> <p>【考えを深める発問】</p> <p>○相手のことを考えるとはどういうことでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手が今してほしいことをするだけでなく、相手の成長につながることをすること。</li> <li>・相手のためになると思ったら、時には言いにくいことも言うこと。</li> </ul>	発問 机間指導	板書 机間指導	<p>○親切にすることの気持ちよさや満足感をとらえさせる。</p> <p>○喜んでいるハルカの様子をとらえさせ、この後のハルカの様子と対比させる。</p>
			発問 机間指導	板書 机間指導	<p>○ハルカの今後のことを考えて、あえて一緒にいないようにしたユウコ的心情をとらえさせる。</p> <p>○一緒にいられず不安がっているハルカの様子から、ユウコの対応が優しいと言えるか再考させることで、本当に相手のことを考える行動の価値に気づかせる。</p>
	3 自分の生活を振り返る。	<p>○「優しい人」とはどんな人でしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手にとってどうするのが一番いいことなのか考えて行動することができる人。</li> <li>・相手をよく見て、今どんな状況なのかをよく考える人。</li> </ul>	発問 机間指導	板書 机間指導	<p>●相手の成長など相手の立場を考えて行動することが優しさには大切であることに気づいている。</p>

終末 (5分)	4 学習の振り返りをする。	○学級で見られた優しさを紹介します。  ○今日の学習の振り返りを書きましょう。	発問  机間指導	机間指導	・相手の成長になること ・本当に相手のことを考える
------------	---------------	---	----------------	------	------------------------------

## 9 板書



### 10 成果と課題 (成果…○ 課題…●)

- 児童は一生懸命考え、自分の意見を表現していた。ペアトークや全体発表では、反応したり質問をしたりして相手の考えを受け止め、考えを深めようとしていた。お互いの意見を聞き合って考えを深めようとする基盤ができてきている。
- 主題や教材を分析して授業のゴールを明確にしていたことで、児童の発言に切り返しをしながらねらいに迫っていくことができた。
- 学級で見られた優しさを紹介することで、教材の中での優しさで終わらず、日常生活での優しさについて価値づけることができた。
- 展開前段の最初の発問では、様々な意見が出たが「ハルカにとって」の視点に絞って考えさせ、中心発問での優しさと比較させることが大切だった。
- 中心発問では登場人物が優しいと言う児童が多かったが、100%優しいと判断する児童は少なかった。「優しくない部分」を子ども達からもっと引き出して、その後「優しい部分」と対比して議論させると、相手の気持ちだけでなく立場や状況を考えた優しさの価値についてより考えが深まった。
- 本時では学級で見られた優しさを指導者が紹介したが、展開後段で子ども達に見つけさせることもできた。自分たちの行動のプラス面を振り返らせることで、優しさについての自覚がさらに深まった。

### 11 今後の「改善・充実」に向けて

- ・主題や教材の分析を十分行って授業のゴールを明確にし、児童の思考の視点を焦点化することで授業の展開をシンプルにしていく。
- ・展開後段の時間を長く確保する授業展開にする。授業で獲得した考えをもとに、自分たちの行動のプラス面を振り返ることができるようにする。